

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2012

資料の記入方法と記入例

■申請書

(オモテ面)

「申請書」は、応募企業1社につき1部作成・提出して下さい。

下記を参考に、応募者様および応募する住宅シリーズ・地域等を記載して下さい。複数の住宅シリーズで応募する場合は、住宅シリーズごとに応募地域を○で囲み、応募件数は応募する地域数の合計として下さい。一つの住宅シリーズ(断熱性能または設備仕様が異なる)で同一地域に複数応募する場合は、それぞれ応募件数としてカウントします。

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2012	
申請書(基本情報)	
□応募者	
◆貴社名	: <u>ABC 工務店</u>
◆ご所属	: <u>営業部</u>
◆ご担当者名	: <u>住宅建郎</u>
◆郵送物送付先	: <u>東京都千代田区〇〇 △△ー××</u>
◆ご担当者電話番号	: <u>03-1234-5678</u>
◆ご担当者メールアドレス	: <u>jutaku@abc.co.jp</u>
*)ご担当者様には、審査委員および事務局から当該住宅シリーズ(設備等を含む)の販売状況・仕様等につき、質問や追加資料のお願いをすることがあります。	
*)複数の住宅シリーズで応募する場合も、ご担当者様は一人として下さい。	
□住宅シリーズ	
◆住宅シリーズ名称(1)	: <u>エナジーハウス</u>
◆応募地域(1)	: <u>Ia・Ib・II・III</u> <u>IVa</u> <u>IVb</u> ・V・VI
◆住宅シリーズ名称(2)	: <u>コンフォートハウス</u>
◆応募地域(2)	: <u>Ia・Ib・II・III</u> <u>IVa</u> ・IVb・V・VI
◆応募件数合計	: <u>3</u> 件
*)2種類の住宅シリーズで応募する場合は(2)欄にも記入して下さい。3種類以上で応募する場合は適宜コピー・ペーストして記入欄を作成して下さい。	
*)応募地域は、住宅シリーズごとに原則として代表的な地域一つに○をつけて下さい。代表的な地域を1つに特定できず複数地域で応募する場合は、その地域すべてに○をつけて下さい。	
*)応募件数は、原則として「住宅シリーズ(1)の応募地域数+住宅シリーズ(2)の応募地域数+…」で計算して下さい。一つの住宅シリーズで同一地域に(異なる仕様で)複数応募する場	

なお、市町村ごとの詳細な地域区分は、建築環境・省エネルギー機構ウェブサイト内「住宅事業建築主の判断基準」資料ダウンロードページ(<http://ees.ibec.or.jp/documents/index.php>)の、「告示関係」-「地域区分(ダウンロード(PDF))」などでご確認下さい。

(ウラ面)

必要な資料を記入・添付したかどうかのチェックに使用して下さい。

□添付資料チェックシート（各資料の詳細は「記入方法と記入例」をご覧ください）

下表の資料は、応募企業1社につき1部ずつ必要です。

資料区分	必須/任意	チェック欄	備考
申請書（基本情報）	必須	☒	この資料です。
応募申込書（振込み確認）	必須	☒	金額は（¥50,000×応募件数合計）となります。

下表の資料は、応募する住宅シリーズごとにセットで送付して下さい。

資料区分	必須/任意	チェック欄		備考
		シリーズ1	シリーズ2	
別紙1（視点1記入用）	必須	☒	☒	住宅シリーズごとの応募件数分だけ必要です。ただし、設備仕様が同一の場合はIaとIb、IVaとIVbはまとめて1部として下さい（注1）。
別紙2（視点2記入用）	必須	☒	☒	住宅シリーズごとに1部ずつ提出して下さい。
別紙2の添付資料	任意	☒	☐	添付資料には枚数制限があります。また、ページ番号（別2-2, 別2-3, …）を振って下さい。
別紙3（視点3記入用）	必須	☒	☒	住宅シリーズごとに1部ずつ提出して下さい。
別紙3の添付資料	任意	☒	☐	添付資料には枚数制限があります。また、ページ番号（別3-3, 別3-4, …）を振って下さい。
Q値計算書	必須	☒	☒	住宅シリーズごとに1部（応募がⅡ地域以北とⅢ地域以南にまたがる場合はそれぞれ1部ずつ）作成して下さい。地域ごとに断熱性能が異なる場合は、地域ごとに作成して下さい（注2）。
一次エネルギー計算結果	必須	☒	☒	住宅シリーズごとに「住宅事業建築主の判断基準」ウェブサイトで計算して添付して下さい。各応募地域につき、該当する断熱・設備仕様で計算したものが必須です。
外観（&内観）写真	必須	☒	☒	当該住宅シリーズの基本的なデザインの物件の外観写真をA4用紙2枚以内で提出して下さい。内観の写真は任意です（注3）
実物件における 断熱図	任意	☒	☐	当該住宅シリーズの実物件の図面で、主要な外壁、床、屋根または天井、窓等の断熱部位を含むものをA3用紙1枚またはA4用紙2枚以内で提出して下さい（注3）

（注1）例：同一の設備仕様でⅢ・Ⅳa・Ⅳb地域に応募する場合は、合計2部必要です（ⅣaとⅣbはまとめて1部）。
ある設備仕様でⅢ・Ⅳa地域、別の設備仕様でⅣb地域に応募する場合は、合計3部となります。

■応募申込書

「応募申込書」も、応募企業 1 社につき 1 部作成・提出して下さい。

貴社名、住宅シリーズ名称および応募件数合計を明記し、記載の振込先口座に応募費用を振り込みのうえ、振込金受領書の写しを応募申込書下部に貼付して下さい。

振込金受領証とは、金融機関発行の振込金受領書・振込受付書、ATM利用明細などのことです。インターネットバンキングの場合は「振込日、振込人名義、振込金融機関名、金額」が分かる書類を貼付して下さい。

複数の住宅シリーズ・地域で応募する場合、振り込みは一括で行って下さい。

応募件数と費用の例を以下に示します。振込み金額に過不足の無いようご注意ください。

- ・住宅シリーズ「A」で、Ⅲ・Ⅳa・Ⅳb 地域に応募 →5 万円×応募件数合計 3 件＝15 万円
- ・住宅シリーズ「B」の「α仕様」でⅢ地域、「β仕様」でⅢ・Ⅳa 地域に応募
→5 万円×3 件＝15 万円
- ・住宅シリーズ「C」と住宅シリーズ「D」で、それぞれⅡ地域に応募
→5 万円×2 件＝10 万円

シリーズ名・件数など記載内容は申請書の内容と相違が無いようにして下さい。応募件数・費用に関し不明な点は事務局にお問い合わせ下さい。

■別紙 1

これ以降の資料は住宅シリーズごとに必要です。

別紙 1 は、「Ⅰ地域用」「Ⅱ・Ⅲ地域用」「Ⅳ地域用」「Ⅴ地域用」「Ⅵ地域用」に分かれています。応募した地域に該当するものに記入・提出して下さい。複数地域に応募する場合はそれぞれの地域について必要です。

記載内容は主に設備仕様に関するものです。記載内容は、原則として後述する「一次エネルギー計算結果」を作成するための「住宅事業建築主の判断基準」ウェブサイト(<http://ees.ibec.or.jp/>)での入力内容と一致させて下さい。「住宅事業建築主の判断基準」に反映できない省エネルギー設備・手法については、「別紙 2」に記載する形となります。

なお、省エネルギー性能が低いとみられる一部の設備機器については、別紙 1 での記載を省略しています。

記載する設備機器は、応募する住宅シリーズにおいて標準的な仕様のものとするともに、モデルプランの規模(約 120m²、2 階建。モデルプランは「Q 値計算書」を参照)を考慮して決定して下さい(特に太陽光発電パネル容量等)。仕様等で不明の項目があれば、「不明」と記載して下さい。

別紙 1

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2012

別紙1(視点1:設備の省エネルギー性能) IV地域用

■「Q値計算書」(面積表・熱貫流率計算書)を添付して下さい。

フォーマットは <http://www.jcadr.or.jp/> からダウンロードできます。

複数地域に同一断熱性能で応募する場合、Ⅰa・Ⅰb・Ⅱ地域でまとめて1部、Ⅲ～Ⅵ地域でまとめて1部でかまいません。

■「一次エネルギー計算書」(「住宅事業建築主の判断基準」のウェブサイト <http://ees.ibec.or.jp/> での計算結果)を添付して下さい。

複数地域で応募する場合、地域ごとに1部添付して下さい。

■省エネルギーに関する仕様の詳細

設問に従い、各項目にチェックおよび仕様等を記入して下さい。

なお、ここで記入する設備種類・仕様等は、原則として上記の「一次エネルギー計算書」の入力内容と整合させて下さい。

1. 地域区分(該当するものに✓を入れて下さい)

なお、同一の設備仕様の場合にはⅣa・Ⅳb 両地域分を一括して記入できます。その場合は2か所に✓を入れて下さい。

☐ Ⅳa 地域

☒ Ⅳb 地域

2. 設備の仕様について

標準で採用する設備について、そのメーカー・型番・仕様等を記入して下さい。なお、用語の定義等については「住宅事業建築主の判断基準」ウェブサイト(<http://ees.ibec.or.jp/>)のFAQや解説を参考にして下さい。

2-1 暖房設備

(1) 暖房設備の設置・運転方式について、該当するものに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

☒ 住宅全体または全居室を連続的に暖房する →引き続き(2)に記入して下さい

☐ 各居室を間欠して暖房する →引き続き(3A)(3B)に記入して下さい

☐ 暖房設備は設置しない →2-2 冷房設備に進んで下さい

(2) 全体・全居室連続暖房に用いる設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

☒ ヒートポンプ式セントラル空調システム →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー: XYZ 電機

製品型番: AB-CDE-FG10

暖房定格能力[W]: 11000

暖房定格消費電力[W]: 3000

☐ その他の暖房システム →メーカー・製品型番およびシステムの概要を記入し、システムの詳細は別紙2に記載して下さい。

メーカー:

製品型番:

概要:

■Q 値計算書（別紙 1 の添付書類 その 1）

Q 値計算書は Excel ファイルで配布します。Excel ファイル内には面積表（ⅠⅡ地域用とⅢⅣⅤⅥ地域用）、熱貫流率計算書、および参考資料の各シートに分かれています。原則として「応募した地域用の面積表」と「熱貫流率計算書」に記入・印刷してお送り下さい。

別途 Q 値計算ソフトや Excel フォーマット等をお持ちの場合は、そちらを使用されてもかまいません。ただし、各部位の面積の総和は配布する Excel ファイルに記載された数値となるように注意して下さい。

なお、Q 値計算においては換気熱回収の効果は考慮しないこととします。換気熱回収の効果は「住宅事業建築主の判断基準」の計算で考慮します。

■一次エネルギー計算書（別紙 1 の添付書類 その 2）

「住宅事業建築主の判断基準」ウェブサイト(<http://ees.ibec.or.jp/>)で、算定用 Web プログラムを使用して一次エネルギー消費量を計算し、計算結果を PDF 出力・印刷して提出して下さい。次ページに出力例を示します。

Web プログラムの入力と計算にあたっては、以下の点に注意して下さい。

- ・入力にあたり、同ウェブサイトの「FAQ(よくある質問と回答)」をご覧下さい。
- ・Q 値は、「Q 値計算書」の結果を使用して下さい。換気熱回収を行っている場合にも、その効果を見逃した値を入力して下さい。その場合、「換気」の入力で「熱交換あり」を選択して下さい。
- ・入力する設備種類および仕様は、「別紙 1」の記入内容と整合するものとして下さい。

(様式3)

当該住宅事業建築主が新築した特定住宅(建売戸建住宅)(住宅タイプ)の省エネルギー性能等の詳細
【算定用プログラムに基づく報告用】

1. 当該住宅(タイプ)の一次エネルギー消費量等

(1) 特定住宅(住宅タイプ)の名称	test		
(2) 地域区分	IVb		
(3) 当該特定住宅(住宅タイプ)の戸数(当該地域区分における戸数を記入)	1	戸	
(4) 当該特定住宅(住宅タイプ)の基準一次エネルギー消費量(1戸当り) ……①	53	GJ/戸・年	
(5) 当該特定住宅(住宅タイプ)の一次エネルギー消費量(1戸当り)			
(5-1) コージェネレーションシステムを設置しない場合	A 暖房設備エネルギー消費量	10.1	GJ/戸・年
	B 冷房設備エネルギー消費量	7	
	C 換気設備エネルギー消費量	4.1	
	D 給湯設備エネルギー消費量	22.2	
	E 照明設備エネルギー消費量	11.6	
	消費量小計 (A+B+C+D+E) ……②	55.0	
	F 太陽光発電設備の発電量(評価分)	0	
	合計 (②-F) ……③	55	
(5-2) コージェネレーションシステムを設置する場合 ……④	****	GJ/戸・年	
(6) 当該特定住宅(住宅タイプ)の基準達成率 ①/(③あるいは④)×100	96	%	

2. 当該特定住宅(住宅タイプ)の仕様

(1) 断熱性能	構造の種類: 木造(枠組壁工法) 入力方法の選択: Q値(熱損失係数)を入力する Q値: 2.22W/mK
----------	---

(2) 各設備仕様	
設備項目	設備仕様
A. 暖房設備	(a-1) 新築時に暖房設備が設置されていない

■別紙 2

質問 1～6 の記載に従い、適宜添付資料を追加しながら記入して下さい。

添付資料には適宜図表・写真等を含めてかまいませんが、それぞれの質問への回答としてポイントを絞ったものとして作成して下さい。質問と関連のない内容の資料(企業紹介、一般的なパンフレット等)は評価に使用しません。また、外観写真を含む添付資料には配布する別紙 2 のページ番号(「別 2-2」)に続く通しのページ番号(「別 2-3」「別 2-4」…)を振ったうえで送付して下さい

■外観・内観写真（別紙 2 の添付書類）

応募する住宅シリーズの典型的な外観デザインの物件の写真を A4 用紙(両面可)2 枚以内で印刷・添付して下さい。外観とは別に、内観および設備等の写真を提出する場合は同じく A4 用紙(両面可)2 枚以内で印刷・添付して下さい。

■別紙 3

質問 1～8 の記載に従い、適宜添付資料を追加しながら記入して下さい。

添付資料には適宜図表・写真等を含めてかまいませんが、それぞれの質問への回答としてポイントを絞ったものとして作成して下さい。質問と関連のない内容の資料(企業紹介、一般的なパンフレット等)は評価に使用しません。また、添付資料には配布する別紙 3 のページ番号(「別 3-2」)に続くページ番号(「別 3-3」「別 3-4」…)を振ったうえで送付して下さい

■実物件における矩計図

応募する住宅シリーズの典型的な断面構成の矩計図(写し)を A3 用紙 1 枚または A4 用紙 2 枚で印刷・添付して下さい。矩計図は主要な外壁・床・屋根または天井・窓等の断熱境界部位を含むものとして下さい。

矩計図の提出は任意ですが、提出されなかった場合にも後日審査段階において提出をお願いする場合があります。

写真・図面等を添付する場合、個人情報に該当する部分はあらかじめ削除あるいは黒塗りとしておいて下さい。

■その他の資料

審査の過程で、別途追加資料の提出やヒアリングをお願いする場合がありますのでご協力下さい。

■応募期間・送付先

2012 年 11 月 21 日(水)～2012 年 12 月 25 日(火)(必着)

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 3-21-5 ヒガシカンダビル 307 号

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー事務局(一般財団法人 日本地域開発センター内)

TEL. 050-3417-5135

ご不明な点は下記メールアドレスにお問い合わせください。

E-mail info@house-of-the-year.com